

大鹿村で中山間地の地域づくりを考える！

都市への流出などで人口の急減が進み、地域の存続が焦眉の課題となっています。「持続可能な地域づくり」への見通しを、今日の現状の中で考え共有する機会を大鹿村で持ちたいと思います。大鹿村で生きる人たちの様々な活動から学ぶと共に、全国各地の中山間地での住民による創意や工夫で展開される地域づくりに学びながら、これからの地域づくりについて考えたいと思います。是非多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講演 「中山間地の地域づくりで大切なこと」

講師 相川陽一さん(長野大学准教授)

大鹿村からの報告(依頼中)

- ・地域福祉の活動 NPO法人あんじゃネット 土屋道子さん
- ・地域産業の展望 道の駅秋葉路及び前沢産業・代表 大坪弘之さん
- ・地域おこし協力隊から役場へ 木下雄貴さん

質疑・意見交換



開催日 2018年12月15日(土)

午後1時30分～4時

会場 大鹿村交流センター・大広間

大鹿村大河原 役場先・道の駅の反対側

資料代 300円(大鹿村在住者無料)

終了後希望者で懇親会を予定

相川陽一氏の経歴と専門分野

- ・島根県中山間地域研究センターの地域常駐スタッフを経て現職。
- ・専門:地域社会学、日本同時代史。自然の恵みを活かす「農の営み」に着目して、大規模開発からの地域自立や地域資源を活かした農山村の内発的な発展について研究。最近は公害問題や住民運動の資料収集・整理・保存・活用にも注力。

共催 南アルプスから学ぶ会

長野県住民と自治研究所・南信州地域問題研究所

問い合わせ先 南信州地域問題研究所 TEL・FAX 0265-52-5391

〒395-0026 飯田市西郷581 mail:nan-tike@dia.janis.or.jp